

小論文課題

以下の問いに答えよ。

問. 下記の文章を読み、あなたの感じたことを 800 字以内で述べなさい。

天声人語

哲学者の今道友信さん三十歳のころの話である。1950年代というから、日本も、日本人も、まだ貧しかった。東大を出てフランスで大学の講師になったが、薄給で生活は苦しかったという▼晩ご飯を食べる小さなレストランで、給料日の前はいつも、一番安いオムレツだけを注文した。「お腹がすいていないから」「疲れているから」と言い訳をしていたら、ある日、店の女性がそとと、二人分のパンを置いてくれた▼「二人前でした」とパンの代金を払おうとすると、彼女は「黙って」と口に手をあてて受け取らない。晩年に綴った『今道友信 わが哲学を語る』で彼は振り返る。「それだけの事ですが、思い出すと今でも涙が出てきます」▼ひどく寒い日には「注文を取り違えました」とオニオングラタンをごちそうしてくれた。そのなんと温かったことか。おいしかったことか。涙がこみ上げてきた。暮らしは惨めで、嫌なことたくさんあった。でも、そんな思い出があるから「私はフランスという国がどうしても嫌いにならないのです」▼異国の地で、人はやさしさに救われる。さて昨今の日本はどうか。外国人は出ていけと言わんばかりの冷たい言葉が跋扈していいないか。国籍は違っても、この国でともに地道に暮らす人間同士が憎悪を煽り煽られ、不安におびえる現状を憂う▼今道友信の著者には、こんな言葉も紹介されている。「美しい心をもって行為せよ。世界はその時それだけで美しくなり、その美は後代に伝わる」

朝日新聞7/15天声人語 「オニオングラタンの温かさ」より引用。

受験番号

氏 名